

**三陽 機器**

**小型炭化賦活装置を開発**

**バイオマス循環利用**

**粉殻・剪定枝などを「活性炭」に**

三陽機器㈱(岡山県浅口市津里町新庄 3-2-10)は、バイオマス(木質)の未利用バイオマスを原料として、活性炭を開発する「小型炭化賦活装置」を開発し、岡山大学と共同開発した。



寺前社長

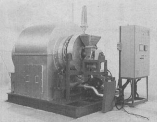
同社は樹木破砕機、グリーンフレーカーや粉砕すりつぶし機「モミル」、草刈機「ハンマーナイフモア」などの破砕機を製造販売しており、これらの機械で作った破砕物を同装置によって、活性炭に再生し、価値物とし

ての利活用を提案、先般、同社の提案が、多くの東京ビッグサイトで開催された「2014 NEW 環境展」に同装置を参考出品して注目を集めた。活性炭には炭素のほかに優れた吸着性能があり、炭化用としては上水道・飲料水・家庭用水道の浄水、下水道工場の廃水処理、染工場等の排水処理などに、気相用としては空調機フィルターの脱臭、下水処理場の空気浄化、下水処理場の

理場の脱臭など、多くの用途がある。

同装置はパンチ機等の半連続式小型活性炭製造装置。炭を作る炭化処理と、炭を活性炭にする脱炭化処理を一つの反応槽の中で連続で行う。炭の入れ替え作業が不要で、炭化処理のみで炭を作ることも可能。吸着力が低下した活性炭を脱炭化処理で再生することもできる。

0.0×高さ3000mmのコンパクトボディで、



小型炭化賦活装置

原料を搬送する羽根を持つキルンを常時回転させて均質処理する。キルンは直径800mm、有効長さ1000mmのロータリキルンで、一度に0.1立方メートルの原料を炭化・賦活処理できる。任意設計となっている。炭化・賦活時に原料から発生するガスを燃焼室で燃焼して燃料として使用したり、また排気から

出る熱を回収して燃焼用空気や賦活処理用水を加熱することで、使用燃料を最小限に抑えている。タッチパネルの簡単な入力操作により最適な工率条件を信度でも再現でき、初心者でも取り扱える。

同社では、各地方の自治体を中心とした地域分散型のバイオマス資源活用システムの構築も、また、ありあれた材料からの新しい種類の製造、同装置が貢献できるのではないかと期待を寄せている。

長さ3000mm